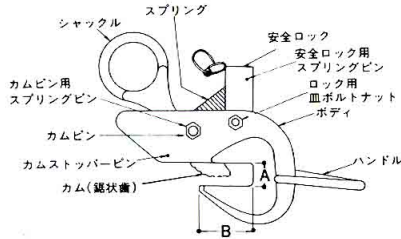


レンフロークランプ・レバーブロック

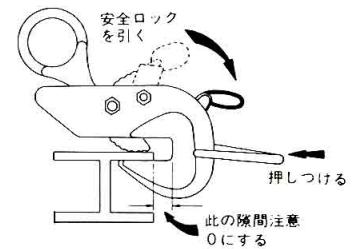
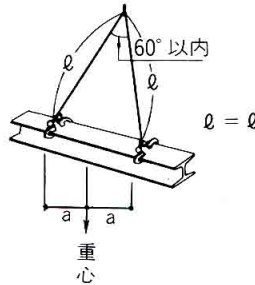
レンフロークランプ



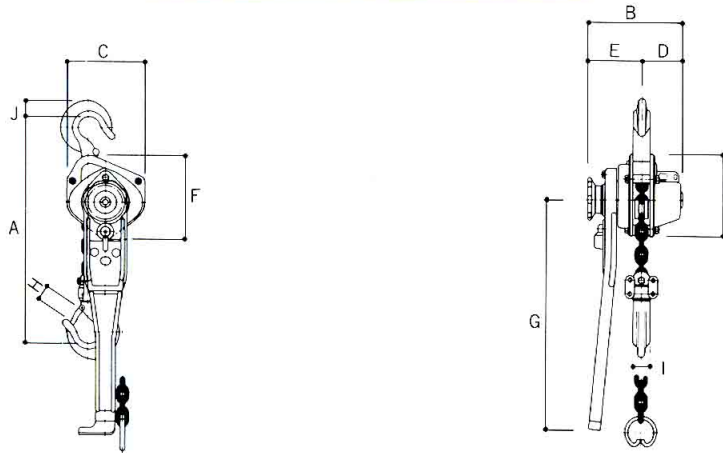
記号	開口部		使用有効寸法%	質量kg
	A %	B %		
ABA-1 (1t)	29	62	3~27	4.5
ABA-2 (2t)	36	87	3~34	9.0
ABA-4 (4t)	42	97	5~40	14.0

●作業順序

- ①被吊り上げ物の重心位置を見定める。
- ②クランプの開口部の最奥部まで噛み込ませる。
- ③2点吊りの場合はワイヤー角度を60°以内とする。
- ④ワイヤーの長さを等分にする。
- ⑤安全ロックを矢印の方向に引きロックを確認にかける。
- ⑥手でクランプを被吊り上げ物の方向へ押しつける。
- ⑦吊り上げの際は、被吊り上げ物が地を離れきった瞬間巻き上げを一時停止し、重心の状態、噛み込みを確認して確実な状態で吊り上げを開始する。



レバーブロック



記号	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
Y-1500 (1.5t)	330	171	141	73	98	148	410	32	30	29.0
Y-3000 (3t)	400	206	185	90	116	185	410	43	33	41.0
Y-6000 (6t)	550	206	248	90	116	185	410	50	40	51.5

記号	揚量 kN(ton)	揚程 m	最短距離 %	N(kg) レバー力量	ロードチェーン % 線径	ロードチェーン 掛け本数	レバー長さ %	kN(ton) 試験荷重	質量 kg
Y-1500 (1.5t)	14.7(1.5)	1.5	330	353(36)	7.1	1	410	22.0(2.25)	10.5
Y-3000 (3t)	29.4(3.0)	1.5	400	441(45)	9.5	1	410	44.1(4.50)	17.5
Y-6000 (6t)	58.8(6.0)	1.5	550	470(48)	9.5	2	410	73.5(7.50)	28.0